

市内出身の大学生・山下さん(川崎)

敦賀舞台に青春映画

自主製作「4年間の集大成に」 第2弾

来月から全編ロケ

敦賀市を舞台に青春映画撮ります。同市出身で日本映画大4年生の山下大裕さん(22)「川崎市在住」が、自主映画「弥生の虹」(仮題)を製作する。2月下旬から3月上旬に全撮影を同市内で行い、フィルムの随所に敦賀の景色を盛り込む予定。山下さんは「学生4年間の集大成となる作品にしたい」と意気込んでいる。

(松本寛)



敦賀を舞台に青春映画を製作する山下さん=19日、福井新聞敦賀支社

山下さんは敦賀高卒で、同大(川崎市)に1期生として入学。映画学科で脚本づくりや演出、撮影技術などを学んでいる。

原点である古里を舞台にしたいと2年前、敦賀などでロケした初監督作品「SNOWGIRL」を自主製作。松原海岸や

気比神宮などで撮影したが「赤レンガ倉庫や港周辺の風景など、まだまだ絵になる場所がある」と、第2弾は全編敦賀ロケとすることにした。

今作品は、廃校が決まった高校で最後の卒業式を控える高校生の青春ドラマ(60分)。「悔いのない人生を生きる」をテーマに据えている。卒業シーズン特有の切なくも、すがすがしい空気を映したいとの思いと、自身も卒業の節目を迎えることから題材に選んだという。

前作同様、同大学生たちがスタッフを務める。山下さんは「2年を経て撮影や照明の技術はレベルアップしている。今回は特に脚本に力を注ぎたい」と話し、脚本の詰め

の作業を急ぐ一方、キャストティングを進めている。3、4月に編集・仕上げ、夏ごろ東京と敦賀で完成披露する予定。他の地域での上映も模索しており、山下さんは「いろ

んな場所で上映することで、何か少しでも地元貢献につながれば」としている。また、製作に賛同・協賛する個人や団体を募っている。問い合わせは山下さんへ ☎080(1965)8679。